



年頭のご挨拶

代表取締役社長

田中 静穂



あけましておめでとうございます。

お取引先様各位におかれましては、日頃より弊社製品をご愛顧賜り心より厚く御礼申し上げます。平成最後の年となります31年の年頭にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

昨年は大阪、北海道にて大きな地震が発生し、西日本や各地では豪雨、大型台風等の大きな被害が発生いたしました。被害に遭われた皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、早期の復興・復旧をお祈り申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、弊社を含め包装業界全般が、一昨年来の原料価格高騰を受け、製品価格の修正をお願い申し上げた一年と思います。実際には、原料価格以外にも、物流費、労務費、副資材等多くの分野で大幅なコスト上昇がありました。これらは、昨年の状況に止まらず、今後日本全体に影響を及ぼす課題と思われます。今回の製品価格修正により、最悪の事態は避けられましたが、弊社としても更に自助努力に邁進し、従来の手法に囚われず、あらゆる手段を用い対応して行く所存です。製品価格改定に、ご理解を賜りました皆様には、改めて心より感謝申し上げます。

また、昨年7月のカナダにおけるG7以降、海洋マイクロプラスチック問題に端を発した環境問題に関しては、今までにない議論が日本国内でも湧き上がってお

ります。今年大阪で開催されるG20に向けて、日本政府指針が公表されると思われれます。この議論は、海洋マイクロプラスチック問題に限らず、地球温暖化（CO2削減）問題、ゴミ処理問題等複合的な要素が絡み合い、今後の対策・方向性が明らかになって行くと思われれます。弊社を含め包装業界としても、具体的な対応を求められる事は明らかであり、弊社としても、社会的な合理性を得られる対策を検討して行きたいと考えております。

更に、10月実施となっております消費税アップと軽減税率の適用等、需要業界における変化に答えられる様、社内の検討も進めて参りたいと思います。今年4月に開催されますFABEXに出展を予定しており、弊社の対応策をお示しできる様検討しております。

今年が最終年度となりました平成時代は、経済的混乱、大災害、ライフスタイルの変化等様々な事柄がありました。新しい元号になりましても、昭和・大正・明治あるいはそれ以前の時代に於きましても、様々な出来事が発生し、世の中の変化は予想できません。今年新しい時代の幕開けでもあり、これからも皆様のお役に立つ企業となる様、更に努力して参りたいと思います。

最後となりますが、昨年同様、皆様の変わらぬご支援ご愛顧を賜ります様、心よりお願い申し上げます。平成31年の年頭のご挨拶とさせていただきます。